

平成29年度

勝浦町教育委員会
点検・評価報告書

平成30年9月
勝浦町教育委員会

[目 次]

第 1	点検・評価制度の概要	(頁)
1	経緯	1
2	目的	1
3	対象事業の考え方	2
4	学識経験者の知見の活用	2
第 2	勝浦町教育委員会の概要	
1	教育委員会組織	3
2	教育委員会の会議等開催状況	3
3	その他の活動	4
	チラシ、広報かつうらへの掲載によってボランティアの募集活動	
第 3	平成 29 年度点検・評価結果（29 年度重点施策）	
	体育館・玄関・ホール修繕	
1	点検・評価結果	
	(1) 学校教育の充実	
	① 特色ある学校教育の充実	6
	② 地域との連携の充実	7
	③ 教育環境の向上	8
	(2) 生涯学習の推進	
	① 学習・文化・スポーツ活動の活性化	9
	② 人権教育の推進	10
	③ 青少年健全育成の推進	11
2	外部評価	12

第1 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成18年12月の教育基本法改正及び平成19年3月の中央教育審議会答申等を踏まえ、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が改正され、平成20年4月から施行されました。

この、地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、平成20年度から教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行うことが義務付けられたことに伴い実施するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を公表し、広報かつうらへの掲載によってボランティアの募集活動を行わなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村に設置されている行政委員会です。その役割は、行政官で構成される事務局を、様々な属性を持たない複数の委員による合議により、指揮監督し、中立的な意志決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、上記地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 対象事業の考え方

平成29年度事業を対象として、次の2区分とします。

町教育委員会の会議の開催状況等、あるいは活動している事業を「勝浦町教育委員会の概要」とします。

平成29年度勝浦町教育基本方針に沿って実施しました事務事業を（1）学校教育の充実、（2）生涯学習の推進に分類し、主に重点施策とした事業について点検・評価しました。

4 学識経験を有する者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定による学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価（自己評価）の結果について、選任した有識者から意見を聴きました。

有識者の選定にあたっては、町内の方を前提とし、教育や人材育成に携わっていた識見の高い方を考慮しました。

【勝浦町教育委員会活動評価員】

○ 武田 京（たけだ みやこ）氏

元 小学校教頭・勝浦町教育委員会教育委員長
勝浦町民生委員・児童委員（主任児童委員）
勝浦町大字中角字東山57番地3

○ 稲井 稔（いないみのる）氏

元 高等学校教諭・高等専門学校非常勤講師・勝浦町教育委員会教育長
現 NPO法人 阿波勝浦井戸端塾理事長
小松島地区保護司
勝浦町社会教育委員会委員長
勝浦町学校支援コーディネーターほか
勝浦町大字三溪字上川原40番地1

第2 勝浦町教育委員会の概要

1 教育委員会組織 平成29年度

○ 教育長及び委員の就任状況

(平成30年3月31日現在)

氏名	役職	異動状況
しいの 椎野 かずゆき 和幸	教育長	H28.10.7 新教育長就任
おおにし 大西 なおみ 直美	教育長職務代理者	H28.10.7 教育長職務代理者就任
たにぐち 谷口 のりよ 智代	教育委員	H26.7.25 教育委員就任
いしき 石木 もとこ 素子	教育委員(保護者委員)	H27.12.26 教育委員就任
きはら 木原 たけし 毅	教育委員	H28.10.7 教育委員就任

※ 平成26年6月20日公布、平成27年4月1日施行の改正地教行法に基づく新教育委員会体制へは、平成28年10月7日に移行しました。

2 教育委員会の会議等開催状況

毎月1回教育委員会定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催

(1) 平成29年度定例会等の開催状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
チラシ													
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会	体育館・玄関・ホール修繕											1	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13

(2) 平成29年度の議案協議・報告状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分													
議案協議	4	5	3	2	3	5	2	1	3	1	8	5	42
報告	10	4	7	7	5	6	7	7	7	4	3	4	71
計	14	9	10	9	8	11	9	8	10	5	11	9	113

3 その他の活動

(1) 会議・研修会等

日 程	名 称	場 所
4月 5日(水)	平成29年度徳島県・市町村教育委員会教育行政連絡協議会	徳島県立総合教育センター
4月 5日(水)	平成29年度徳島県市町村教育委員会連合会・徳島県市町村教育長会合同理事会	徳島県立総合教育センター
4月26日(水)	第65回徳島県市町村教育委員会連合会・徳島県市町村教育長会定期総会並びに研修大会	徳島市役所
4月26日(水)	徳島県教育委員会教育長と徳島県市町村教育長会の情報交換会	ホテルグランドパレス徳島
5月23日(火)	平成29年第2回勝浦町総合教育会議	勝浦町図書館
8月25日(金)	平成29年度四国ブロック町村教育長協議会	ホテル千秋閣
11月 6日(金)	平成29年度徳島県・市町村教育委員会教育委員等研修会	徳島県立総合教育センター
11月13日(月)	勝浦郡内小中学校防災研修会	勝浦町図書館
11月16日(木)	平成29年度四国地区市町村教育委員会協議会	高知会館
1月11日(水)	徳島県市町村教育長会と徳島県教育委員会研修会	ホテルグランドパレス徳島
1月16日(火)	市町村教育委員会研究協議会	大阪市
2月16日(木)	平成30年第1回勝浦町総合教育会議	勝浦町図書館

(2) 学校訪問等

日 程	名 称	場 所
6月22日(木)	勝浦町教育委員会学校訪問（授業参観）	勝浦中学校
10月16日(月)	徳島県教育委員会（教職員課）学校訪問随伴	勝浦中学校
11月21日(火)	徳島県教育委員会（教職員課）学校訪問随伴	生比奈小学校 横瀬小学校

(3) 行事等

日 程	名 称	場 所
4月10日(月)	勝浦町教職員赴任式	勝浦町図書館
4月11日(火)	勝浦町立学校入学式	生比奈・横瀬小学校 勝浦中学校
5月21日(日)	勝浦中学校体育祭	勝浦中学校
6月23日(金)	勝浦町人権教育推進協議会及び研修会	勝浦町住民福祉センター
7月19日(水)	勝浦郡人権教育推進協議会及び研修会	勝浦町 農村環境改善センター
8月 2日(水)	勝浦郡転入教職員人権問題研修会	勝浦会館
8月19日(土)	人権を考える勝浦郡民のつどい	勝浦町 農村環境改善センター
9月16日(土)	勝浦中学校文化祭	勝浦中学校体育館
9月18日(月)	生比奈小学校運動会	生比奈小学校運動場
9月18日(月)	横瀬小学校運動会	横瀬小学校運動場
10月21日(土)	人権コンサート	生比奈小学校
11月 5日(日)	平成29年度勝浦町民体育大会	勝浦中学校グラウンド
1月 2日(火)	成人式	勝浦町 農村環境改善センター
1月 4日(木) ～ 6日(土)	徳島駅伝	県南コースほか
2月17日(土)	人権講演会・社会総合大学講演会	勝浦町 農村環境改善センター
2月21日(水)	勝浦郡教育委員会連絡協議会	上勝町
3月 9日(金)	勝浦町立中学校卒業式	勝浦中学校
3月16日(金)	勝浦町立小学校卒業式	生比奈小学校 横瀬小学校
3月23日(金)	勝浦町教職員離任式	勝浦町図書館

第3 平成29年度点検・評価結果（29年度重点施策）

施策	(1) 学校教育の充実	区分	① 特色ある学校教育の充実
点検・評価対象事業	安全・食育・主権者等教育の推進		
事業の目的			
<p>学校給食などを活かし、様々な経験を通じて食生活の基礎基本を学び、「食に関する知識」と「食を選択する力」を習得し、健全な食生活及び自らの健康管理をすることができる子どもの育成を目的とする。</p> <p>主権者教育においては、選挙権の18歳引き下げもあり、学校教育の更なる充実を図る。</p>			
平成29年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産物を活用した学校給食 ・ 「食に関する指導」の実践 ・ 各小学校でのふれあい交流給食 ・ 「野菜たっぷりの日」の実践 ・ 適温給食の提供 ・ 小中学校最高学年児童生徒による「子ども議会」の開催 ・ 給食だよりの配付 ・ 食育カレンダー作成及び勝浦町全戸への配布 ・ 学校給食レシピ集作成 ・ 栄養教諭による給食を通じた食育指導（含、TTによる授業） など 			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 米100%、年間を通じ使用量の多い野菜や果物は、「よってネ市」との連携による地場産物を活用 ・ 各学校と栄養教諭の連携による食育推進計画の策定、家庭科授業参加による給食指導 ・ 地域の方との交流給食、保護者試食会の実施 ・ 「野菜たっぷりの日」は、野菜豊富なメニューを活用し、月2回程度実施 ・ 保温保冷コンテナを活用 ・ 栄養教諭が「給食だよりの」を毎月作成し、児童生徒へ配付 ・ 平成29年版カレンダーを作成し、各区長を通じた勝浦町全戸への継続配布 ・ 学校給食レシピ集を作成し、平成29年度勝浦中学校卒業生へ記念配付 ・ 10月に町議会議場において各学校毎に「子ども議会」を開催し、各校2名ずつが代表して一般質問を行った。 			
事業の効果など			
<p>地場産物の活用により、新鮮で安心な食材を提供でき、児童生徒が地域の農業や食文化を知ることで、食に関する興味・関心を高めることができた。</p> <p>ふれあい給食を通じ、食の楽しさ、コミュニケーション能力の育成、生産者への感謝の心が養えた。</p> <p>適温給食の提供の実践により、望ましい栄養や食事の採り方を理解させることができた。</p> <p>食に関する自己管理及び健康管理は、家庭の協力が欠かせない。給食だよりの配付、食育カレンダー配布により家庭・地域と連携を図ることができた。</p> <p>町議会の運営や議員活動について学ぶとともに、学級で一般質問について話し合うことにより、行政への理解を進めることができた。また、提案の一部について、イベントとして取組みも行っている。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>地場産物活用率の更なる向上に向け、引き続き「よってネ市」等との連携を図り、地場産物を取り入れた献立を提供することにより「生きた教材」として、学校給食及び食育教育に活用する。</p> <p>家庭・地域との連携を深める取組みの工夫が必要。</p> <p>「子ども議会」については、議会の協力を得ながら各校最高学年を対象に継続して取組みして行く。</p>			

施策	(1) 学校教育の充実	区分	② 地域との連携の充実
点検・評価対象事業	学校・家庭・地域の連携・協力		
事業の目的			
<p>「勝浦町学校支援地域本部」において、地域住民から学校支援ボランティアを募り学校教育活動のサポートを行うことによって、学校の教員が子ども達と向き合う時間の確保と学校教育の一層の多様化及び活性化を図る。また、同時に学校と地域の連携を強化することを目的とする。</p>			
平成29年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域コーディネーターの任命 ・ 学校支援ボランティアの募集 ・ 学校支援ボランティア活動の実施 ・ ボランティア活動の広報など ・ 勝浦町地域ぐるみの学校支援協議会の開催 など 			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3名のコーディネーターを任命（1校につき、1名配置） ・ チラシ、広報かつうらへの掲載によるボランティアの募集活動 ※ 90余名の登録あり ・ コーディネーターと学校で連絡調整を行い、コーディネーターがボランティアへ呼びかけ活動実施 (事例) 生比奈小学校 登下校指導・読み聞かせ・校外学習付添・庭木剪定など 横瀬小学校 下校指導・読み聞かせ・米作り体験指導・総合学習の外部講師 学校図書整理・手話教室・お手玉教室など 勝浦中学校 勝浦音頭指導・しめ縄体験学習・植木剪定・人形浄瑠璃指導部活動指導補助など ・ ボランティア活動の状況を「広報かつうら」へ掲載 ・ 年2回『勝浦町地域ぐるみの学校支援協議会』を開催 ①本年度の運営方針等 ②本年度の事業報告・活動報告 			
事業の効果など			
<p>学校支援地域本部事業の活動による学校・地域コーディネーター・ボランティアとの連絡調整も定着してきており、新たな支援の依頼もあり効果が図れた。 新たな取組みとして、各小中学校で夏休みに実施される学校愛校奉仕作業への参加を学校支援ボランティアへ呼びかけ、12名の参加があった。学校や教員との連携強化も図れた。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>教職員の異動等により、軌道に乗っている連携体制が途切れてしまわないよう、年度当初にコーディネーターと学校支援地域本部と共に学校訪問を実施し、事業についての詳しい説明を行う。 若い世代や保護者等のボランティア登録者が少ない。「広報かつうら」を活用し、幅広い世代の登録者の確保に努めたい。</p>			

施策	(1) 学校教育の充実	区分	③ 教育環境の向上
点検・評価対象事業	施設整備の推進		
事業の目的			
各小中学校及び給食センターにおいて、児童生徒及び教員等が快適に学習を実施するため、環境整備を整えることを目的とする。			
平成29年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各小中学校における、施設修繕 ・ 各小中学校における、備品整備 ・ 給食センターの施設修繕 ・ 給食センターの備品整備及び更新 など 			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 生比奈小学校 <ul style="list-style-type: none"> ① 校舎トイレ改修 ② インターネット新設 等 ・ 横瀬小学校 <ul style="list-style-type: none"> ① プールろ過機修繕 ② 体育館・玄関・ホール修繕 ③ 校門修繕 ④ インターネット新設 等 ・ 勝浦中学校 <ul style="list-style-type: none"> ① 太陽光計量器取替 ② インターネット新設 等 ・ 給食センター <ul style="list-style-type: none"> ① 配膳戸棚改修 ② 高圧機器更新 等 			
事業の効果など			
<p>生比奈小学校は、国庫事業の採択により、トイレの改修工事に着手することができた。</p> <p>横瀬小学校は、老朽箇所が所々見受けられるが、こまめな修繕により教育環境を整えることができた。</p> <p>勝浦中学校は、新しい設備のため一部設備の修繕により対応することができた。</p> <p>給食センターは、設備及び機器を更新したことにより、調理員の負担も軽減され、スムーズな調理が可能となり、児童生徒等にも引き続き美味しい給食の提供ができた。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>快適な教育環境づくりを目指すには、長期経過の各施設とも補修及び備品更新が欠かせない。</p> <p>各施設と報告及び協議等により連携し、生比奈小学校のトイレ改修事業の完成、生比奈・横瀬両小学校への空調設備設置などについて、計画的に事業を進めるよう努めていきたい。</p>			

施策	(2) 生涯学習の推進	区分	① 学習・文化・スポーツ活動の活性化
点検・評価対象事業	施設の機能向上と利用促進 / 郷土文化の継承		
事業の目的			
<p>様々な地域活動の活性化に向けて、郷土を学ぶ機会づくりや多彩な学習機会の提供に取り組む新たな教養と知識を身につけることで、生きがいがあり心豊かな生活が送れるようにする。また、幅広い世代が文化・スポーツ・学習活動に楽しく参加できるようにする。</p>			
平成29年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校支援地域本部事業の推進 ・ ふるさと学習の推進 ・ 伝統芸能保護事業の実施 ・ 勝浦町民体育大会の実施 ・ 図書館運営及び施設修繕 ・ 文化的優秀作品の展示 など 			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシ、広報かつうらへの掲載によってボランティアの募集活動 ・ 各小中学校で勝浦音頭指導・しめ縄体験学習・米作り体験・お手玉教室など実施 ・ ふれあいの里さかもとを利用した宿泊学習（勝浦中学校1年） ・ 人形浄瑠璃の後継者育成に向けた、『こども阿波人形芝居教室』 ・ 勝浦町民体育大会を開催し、約800名が集う。 ・ 図書館前駐車場修繕 ・ 図書館事業の実施 ・ 文化祭に県展や子ども県展の入選作品コーナーを新設 			
事業の効果など			
<p>学校行事で学校支援ボランティアや「ふれあいの里さかもと」など地元団体を活用することで、児童生徒及び教職員が郷土文化にふれる貴重な機会が提供ができ、郷土愛を育むことができた。</p> <p>また、『こども阿波人形芝居教室』では、気楽に参加し、人形に触れ、実際に操作する楽しさを学んでもらう環境づくりができた。</p> <p>勝浦町民体育大会は、広い世代が楽しく参加できる行事となった。</p> <p>図書館前の駐車スペースを増やしたことより、車によるの来館者が利用し易くなった。</p> <p>また、子どもたちの長期休業期間に合わせ読書スタンプラリーや各種教室を実施したことで、来館の逡減に歯止めがかかった。</p> <p>県展・子ども県展の入選作品をクローズアップすることにより、次回作品への取組み意欲向上につながることを期待している。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>学校行事での郷土文化にふれる活動は、継続事業として取り組む。</p> <p>特に伝統芸能である人形浄瑠璃については、人口減少や少子高齢化による活動低下とならないよう、『こども阿波人形芝居教室』の活動を通じ、その保存と継承に努める。</p> <p>幅広い世代が楽しく参加できるようなイベントの開催による環境づくりに努める。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ・K-Friendsとも連携し、地域コミュニティーの環境づくりにも努める。</p> <p>図書館への来館及び本に親しむきっかけ作りとなる事業の実施及び環境づくりに努める。</p>			

施策	(2) 生涯学習の推進	区分	② 人権教育の推進
点検・評価対象事業	人権教育推進協議会の運営		
事業の目的			
<p>あらゆる差別の解消に向けて、勝浦町と勝浦郡の人権教育推進協議会の運営に取り組む。 また、町民に人権学習の機会を提供するなどして人権教育・啓発に取り組み、人権問題に対する理解を深める。</p>			
平成29年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 勝浦町人権教育推進協議会総会 ・ 勝浦郡人権教育推進協議会総会 ・ 勝浦町人権講演会と社会総合大学の合同開催 ・ 人権を考える勝浦郡民のつどい ・ 勝浦郡転入教職員人権問題研修会 など 			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月23日(金) 勝浦町人権教育推進協議会総会 64名 チラシ、広報カ 研修会：「部落差別はいま…を考える」 講 師：徳島県人権教育指導員 中原サヲ江氏 ・ 7月19日(水) 勝浦郡人権教育推進協議会総会 88名 研修会：「高齢者と障がい者の人権」 講 師：徳島県人権教育指導員 大下直樹氏 ・ 8月2日(水) 勝浦郡転入教職員人権問題研修会 27名 ・ 8月27日(土) 人権を考える勝浦郡民のつどい 155名 映 画：「この世界の片隅に」(アニメーション) ・ 2月17日(土) 勝浦町人権講演会・2018社会総合大学 120名 講演会：「家族が教えてくれたこと」 講 師：ジャーナリスト 橋本大二郎氏 			
事業の効果など			
<p>講演に映画を取り入れたことで、若い世代にも参加していただけた。 また、著名な方に講演依頼することで、幅広い世代で親しみやすく、気軽に参加できる人権学習の場を提供でき、人権問題に対する理解を深めることができた。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>より幅広い多くの町民が参加できるよう、実施時期や内容等について工夫する。 また、人権教育の推進、人権啓発のため、どのような方法が効果的か検討していかなければならない。 平成28年12月成立・施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」への取り組み。</p>			

施策	(2) 生涯学習の推進	区分	③ 青少年健全育成の推進
点検・評価対象事業	補導パトロールの実施 青少年健全育成センターと専門補導員との連携		
事業の目的			
勝浦町青少年補導協力委員と青少年健全育成センター専門補導員を中心に補導パトロールを実施し、子ども達の安全と青少年健全育成に取り組む。			
平成29年度の主な事業の概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 勝浦町青少年補導協力委員研修会 ・ 補導パトロール ・ 専門補導員によるパトロール など 			
事業の実施状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月25日(火) 勝浦町青少年補導協力委員研修会 チラシ、広報か 研修会：少年非行の現状について 講師：小松島警察署生活安全課係長 林亜周香氏 ・ 8月16日(水) 横瀬地区夏祭り補導パトロール 各地区を車でパトロール後、JA勝浦支所周辺を巡回 ・ 9月・10月 秋祭り補導パトロール 9月30日(土) 星谷・生名・棚野・久国 10月3日(火) 黒岩 7日(土) 中山 7日(土) 横瀬 ・ 専門補導員パトロール 勝浦町・・・月(AM, PM), 火(AM, PM), 木, 金 上勝町・・・木(PM: 徒歩下校)+1回 			
事業の効果など			
<p>町内のイベント時の巡回活動実施によって、子ども達の安全確保を図れた。 巡回及び声かけをすることで、青少年への啓発ができた。 町内で不審者情報が発生した際も、専門補導員と学校とが連携し迅速な対応をとることで、被害拡大を防止することができた。</p>			
事業の課題・改善策など			
<p>補導パトロール活動や青少年補導協力員の研修会は、継続事業として取り組む。 人口減少や核家族化などが原因で、地域での見守りだけでは目が届かない。 イベント開催時などは、更に青少年健全育成センターと連携し、地域安全確保に努め、情報交換等にも努める。</p>			

平成29年度勝浦町教育委員会活動の点検・評価に対する意見

はじめに

10年間にわたる勝浦町総合計画もあと数年。

後期基本計画（平成28～32年度）の時期となってきました。最後の計画実現に向けての総括をしなければなりません。町政の根幹とみるべき基本構想の目標は大きく5つの分野からなっています。その中の第二項目に「教育と文化」が主要施策として明記されています。（1）学校教育の充実（2）生涯学習の推進の2分野が施策方針として示されています。

勝浦町教育方針にも上記と同様の施策が記載されています。基本方針には「一人ひとりを大切にする教育の充実、教育環境の充実、伝統文化の継承」と述べられています。

さらに学校教育で子どもたちに「学力、体力、郷土愛を育む」指導體制の強化、環境整備、地域との連携、生涯学習分野では、文化、スポーツなどの諸活動をもとに世代間の交流連携強化と活性化への取り組みが進められています。

勝浦町総合計画と教育委員会教育基本方針は町政の両輪です。この2つに基づき教育行政を着実に進めてほしいと思います。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（平成27年4月1日に施行）が改正され、すべての地方公共団体に総合教育会議が設置されることになっています。この会議の設置と運営を継続して進めてほしいと思います。

点検と評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第4項の規定により「教育に関する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い報告書を作成し議会に提出するとともに公表しなければならない」と記されています。

平成29年度勝浦町教育基本方針の事務事業(1)学校教育の充実(2)生涯学習の推進の重点施策とした対象事業6項について点検評価します。

1 学校教育の充実

① 特色ある学校教育の充実

～安全、食育、主権者等の教育の推進～

毎月19日は「食育の日」です。日常生活の中で食生活は不可欠なものです。知育、徳育、体育は学校生活の中で培われてきます。成長期にある児童生徒にとって食に関する知識は最重要です。点検評価の事業状況については食材を町内生産物、地産、地消を活用していること、米は100%、野菜果物の多くを使用している、このことは町内の生産者への活力につながると思

ます。また地域活性化にもつながります。米、野菜、果物だけでなく町内に豊富にある食材の活用も効果があると思います。

また、栄養教諭を中心に毎月「食育だより」を各家庭に配布することは、保護者家庭が学校給食に理解を深め安心できます。食育カレンダーを作成し、各区長さんを通じ町内全戸に配布することは、町民に食べ物に対する知識消費生活の啓発にもつながるので、今後も継続してほしいと思います。

毎年町議会議場において「子ども議会」が議会の協力を得て開催され、町内各公立学校の代表者が一般質問を行ったことは、将来的に有意義であったと思います。

② 地域との連携の充実

～学校、家庭、地域の連携、協力～

「勝浦町地域ぐるみの学校支援協議会」この事業の目的は教師が子どもたちと向きあう時間を確保し、学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもたちを育てることです。

学校支援は地域住民から学校支援ボランティアを募り、学校教育をサポートすることが大きな目標です。学校の様々な要望をボランティア会員に働きかけ連絡調整するのが地域コーディネーターの役割です。活動内容では、児童、生徒の通学路には各所に「かけこみ 110 番」の家もあり、地域住民がサポートしていることは、有意義な取り組みです。実施の状況は、登下校（見守り隊）、学校の庭園剪定、読み聞かせ、みかん栽培、地域探訪、ほたる学習等々、伝統文化面では、ひな人形飾り付け体験学習、お手玉、しめ縄体験学習、人形浄瑠璃指導など多岐にわたり、ボランティア会員が指導にあたっている。ボランティア会員の地域での教育力の発揮できる場でもあり、また児童、生徒、教職員との交流の場ともなっている。地域コーディネーターとボランティア会員との連絡調整も定着してきており新たな要望も次々とあり、効果もあらわれています。

毎年、夏休み中各校で実施されている愛校奉仕作業への参加を学校支援ボランティア全員に呼びかけていることは、地域住民、学校、保護者との連携が深まり有意義な行事です。

なお、教職員の異動等を原因として軌道にのっている連携体制が途切れないうちに年度当初に教育委員会とコーディネーターが学校訪問を実施し、事業について詳しい説明をしていることも連携強化につながっていると思います。

③ 教育環境の向上

～施設整備の推進～

学校関係の施設整備については、給食センター施設の修繕、備品などの更新が実現されました。児童生徒の運動の場である体育館は、勝中、横小はすでに耐震工事は終了しています。学校施設の耐震化率は全6施設100%となっています。しかし場所によっては老朽化の進んでいる各所もあると思います。定期的な点検が必要です。特に屋外にある遊具等は、雨水に浸食されやすいので打診による一層の定期点検を必要とします。

また、中学校の武道場では剣道への学習が進んでいると思います。町民の柔道、剣道などへの活用も進めてほしいです。地球温暖化にともない、特に夏の気温が上昇しているので空調設備も必要となると思います。児童生徒が安心して学習に打ち込むことができる環境づくりをしてほしいと思います。

2 生涯学習の推進

① 学習、文化、スポーツ活動の活性化

～施設の機能向上と利用促進、郷土文化の継承～

勝浦町総合計画の後期5年間の施策方針の目標(指標)の中に重要施策として明記されています。勝浦町の古来から伝わる伝統文化や芸能等の知識を更に深めることにより勝浦町の長所を見いだす事ができると思います。様々な地域活動に参加し郷土を学ぶ機会づくりや多彩な学習機会の提供に取り組み新たな知識や教養を身につけることが生きがいであり心豊かな生活が送れるようになります。幅広い世代が文化、スポーツ活動に積極的に参加してほしいと思います。

勝浦町には大きなふたつの人形文化があり、人形の町です。勝浦座による人形浄瑠璃活動は県外、世界各地で公演を行っています。現代社会に残る数少ない伝統芸能です。ふるさと学習、学校支援として子どもたちに勝浦座による人形浄瑠璃指導と後継者育成は重要な事業です。子ども人形芝居教室は以前小学校高学年の児童も参加し早くから人形芝居に親しんでいました。これからも積極的に取り組んでほしいと思います。

また、人形文化交流館での小学生による「おひなさま体験学習」もよかったと思います。

「ふれあいの里さかもと」を利用した宿泊学習、体験学習など町内の施設を活用することで郷土文化にふれる貴重な学習ができたと思います。スポーツ活動では、町民体育大会が復活して3年目、多くの町民が参加し多種多様な競技種目が実施され盛況であったと思います。新しいスポーツにも取り組んでほしいと思います。町内小中学校のプール活用も重要です、専門的な水

泳指導者を招き、水泳教室の開設も必要と思います。

さらに5年に1度徳島駅伝の勝浦コースが採用されます。勝浦チームへの積極的な支援と選手層の充実強化も必要です。

② 人権教育の推進

～人権教育推進協議会の運営～

勝浦町は、1973年「勝浦町同和教育推進協議会」を発足し、1994年「勝浦町差別をなくし、人権を擁護する条例」制定しました。協議会も「勝浦町人権啓発推進協議会」と名称を変え、2008年度から「勝浦町人権教育推進協議会」とし、人権教育を積極的に進めています。身の回りの差別を見抜き、あらゆる差別をなくすよう実践力を確実に身につけることが最重要です。そのためには、学習する機会を提供し、人権意識を自分自身のものとするような学習の場が必要です。人権講演会、人権を考える勝浦郡民のつどい、転入教職員人権問題研修会等が積極的に実施されています。

実施状況では6月23日中原サヲ江氏による「部落差別はいま…を考える」また7月には大下直樹氏による「高齢者と障がい者の人権」、翌年2月には元高知県知事 橋本大二郎氏の「家族が教えてくれたこと」等の講演においては多くの町民の参加があり有意義であったと思います。

また、各小中学校では、人権劇や人権コンサートを計画、実施し保護者をはじめ地域の方々も出席し、人権教育の推進、人権啓発にも効果があったと思います。人権教育の推進と啓発は、全ての人々があらゆる差別をなくすため取り組まなければならないものです。今後もこのような講演会、研修会等を時期や内容を精選しながら実施してほしいと思います。

③ 青少年の健全育成の推進

～補導パトロールの実施、青少年健全育成センターと専門補導員との連携～

青少年の健全育成の推進は、次代を担う子どもたちの豊かな人間性や社会性の養成に重要不可欠なものです。地域に根ざした活動の強化、地域ぐるみの非行防止、事故防止活動を推進してほしいと思います。特に学校との協力、連携をしながら勝浦町青少年補導協力員、専門補導員、保護司会、交通安全協会、地域の安全を守る会、子どもの見守り隊など関係諸団体とも密接な連携をはかり、事故防止、不良行為防止等に努めてほしいと思います。

年末年始、夏休みなど長期休業中の巡視や各種イベント時のパトロール活動は効果があると思います。さらに細かい巡視を継続してほしいと思います。

終わりに

学校教育の充実と生涯学習の推進分野について意見や感想を述べましたが、全て実情にあった事業が実施されたと思います。

さらに事業内容を精選し、その目標達成に向け、継続して取り組んでほしいと思います。

“みかんが香り、笑顔あふれる元気なまち、かつうら”をめざし一人ひとりを大切にする教育“人づくりは町づくり”の基本をもとに確実な教育行政を進めてください。

=記=

- ① 全国学力学習状況調査、県学力ステップアップテスト等の調査結果を検討し、活用してほしいと思います。
- ② 土曜授業の計画的な実施
- ③ 学校施設で温暖化にともなう夏季の空調設備の完備
- ④ 平成 28 年度 12 月成立施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」への取り組みを進めてほしい。

勝浦町教育委員会活動評価委員 武 田 京

稲 井 稔